

# 大野地区まちづくり推進協議会

## 1 基本データ

- 地区名 大野地区
- 人口 14,937人  
(平成22年9月1日)
- 面積 6.3平方キロメートル



亀山の頂に建つ越前大野城

### ○ 地区の沿革

大野地区は、大野盆地の北西部の平坦地に位置し、東は上庄地区に接し、南は小山地区と上庄地区、西は乾側地区と小山地区、北は下庄地区に接していて、政治・経済ともに大野市の中心である。

古代より中世初期にかけては、政治経済の中心は小山地区や乾側地区にあり、大野地区は荒涼とした原野に数村が所在していたと考えられている。

中世中期には、亥山城（現在の日吉神社付近）の周辺に小規模な城下町が形成されていたが、今から430年前、天正期に金森長近が大野城を築城し、新しく建設した城下町が大野地区中心部の街区や用排水路の原型となっている。

明治4年の廃藩置県により大野藩は大野県となったが、その年のうちに福井県、足羽県と

めまぐるしく変わった。県名はその後も明治6年に敦賀県、明治9年に石川県と変遷したが、明治14年に再び福井県となって現在に至っている。



名水百選「御清水」

足羽県地理誌によると、廃藩置県当時の大野地区は戸数2,083戸、人口9,052人であった。

明治22年の町村制施行により、5つの小区がまとまって大野町が誕生した。大野町は、昭和29年の町村合併により大野市の一地区となって現在に至っている。



400年の歴史を誇る七間朝市

### ○ 実施主体

大野地区まちづくり推進協議会

## 2 現状と課題

大野地区は、亀山にそびえる越前大野城、基盤目状に区切られたまち並みや寺町通り、城下

町誕生のころから続くとされる七間朝市など、400年を超える歴史の昔日を彷彿とさせる景観を今も色濃く残している。

広大な森林を持つ本市は湧水が多く、当地区には名水百選にも選ばれている「御清水」をはじめとする湧水地がいくつもあり、古くから地下水を生活用水として利用してきた。この地下水は、現在でも多くの家庭が飲み水などに利用しており、この地ならではの豊かな水文化を育んでいる。



平成の名水百選「本願清水」といよの里

当地区の「歴史・文化・伝統・水に育まれた城下町」を魅力として、市ではまちなか観光を推進しており、当地区への観光入込み客数は増加傾向にある。



400年の歴史を誇る七間朝市

しかし近年、車社会の進展や大規模小売店舗の

郊外立地に伴って、人口が市街地から郊外等へ流出しており、市街地では商業活動の衰退、後継者不足等により空き店舗や空き地などが増加している。

こうしたことから、市では平成20年度に中心市街地活性化基本計画を策定し、交流人口の増加、居住環境の向上、商店街の活性化などに取り組んでいる。

一方、当地区は区域の大半を市街地が占め、また城下町を中心に発展した歴史などから、他地区のような「むら社会」の側面が無く、地区住民の多くは「大野地区民」としての連帯感、責任感が希薄であり、まちづくり活動への参加意識も極めて低い。

以上のようなことから、本年度は地区住民の連帯感の醸成と来訪者へのホスピタリティ向上を課題として取り組むこととした。



寺町

### 3 事業の内容

前項で記述の現状と課題を踏まえ、協議会内部での議論を重ねた結果、本年度は、「住民相互のコミュニケーションの向上と連帯感の醸成」、「観光客など来訪者へのホスピタリティの向上」をコンセプトに「町中花いっぱいロード創出事業」を展開することとなった。



花づくり学習会

事業の内容は、「各戸にプランター、培養土、花苗を配布し、住民総参加でみんなが見える街路に面した軒先などで栽培管理をする。」と、いたってシンプルなものであるが、地区内73区、5千余戸を対象に周知し、参加希望を把握し、資材を配付するということは、大変な労力の要る事業であり、まちづくり推進委員のほか、区長をはじめ班長など行政区組織の協力があって実現できた事業である。



#### 4 事業の成果

まちづくり推進委員のほか、区長をはじめ班長など行政区組織の協力の下、地区まちづくり推進協議会会員の53.6パーセント、2,236戸の参加を得ることができた。

地区住民は、花いっぱいになるであろう地区の町並みを思い描き、これからの栽培管理に意欲を燃やしている。

このように多くの住民が1つの目標に向かって活動を行うことは、今後のまちづくり運動の活性化につながっていくものと期待できる。



## 5 今後の展望

大野地区では、中心市街地活性化基本計画や亀山整備計画、水のみえるまちづくり計画など市が直接手がける事業が種々計画されており、この交付金事業に取り組むに当たっては、地区の役割を明確にしていく必要がある。

今後は、市との連携、調整をさらに図りながら、当地区の魅力「歴史・文化・伝統・水に育まれた城下町」に磨きをかけるような事業に取り組んでいきたい。



名水百選「御清水」

8月24日	常任委員会（制度の概要説明、事業計画策定の進め方について他）
9月10日	常任委員会（提案された14の事業案を協議）
10月2日	役員会（現地調査、実施事業内容の検討）
11月5日	役員会（臨時総会の議案等について協議）
11月20日	常任委員会（臨時総会議案を成案）
11月20日	臨時総会（事業計画承認）



臨時総会

## 6 その他

大野地区まちづくり推進協議会における本年度事業計画策定の経緯

月 日	内 容
8月2日	役員会（市から制度の説明を受ける。）
8月12日	役員会（事業計画策定の進め方等について協議）

